

生活支援コーディネーター発行

地域の支え合い通信

麻生、篠路茨戸、太平百合が原、拓北・あいの里
地区版



2022年

3月

第18号

コーディネーターの活動報告

～「地域資源の把握」に取り組みました～

生活支援コーディネーターの役割として「地域資源の把握」があります。その一環で、高齢者が「あったらいいな」と思う取り組みやサービスを探して、訪問や電話で取材をしています。お忙しい中、取材にご対応いただいた皆さま、誠にありがとうございました。令和4年1月、2月に訪問取材をした場面のひとこまをご紹介します。

ある電器店では、「テレビが映らない」という電話が続けてかかってくるがありました。「お電話が多いのでしょうか」とお尋ねすると、家電の修理や点検依頼はもちろんですが、時には「除雪してくれるところ知らない？」など、生活の困りごとのお問い合わせもあるとお話をされました。親身に対応されている姿に、地域の方に頼りにされている様子が伺えました。

またあるスーパーは、道内産・国産を中心に新鮮で安い旬の食材が並びます。お店の方のお話によると、ご近所の方ばかりではなく、バスに乗って買い物に来る高齢者や、利用者にお店を指定されて、商品を買ってくるホームヘルパーもいらっしゃるそうです。訪問した日も、買い物客で店内がにぎわっており、地域の方から厚い信頼を得ているお店であることがわかりました。



このように、皆さんが身近に感じる人たちがおこなっている取り組みをご紹介できるように、コーディネーターは、協力者探しに取り組んでいきます。地域に住む人、働く人、活動する人、ぜひ、みなさんのお話をお聞かせください。

生活支援体制整備事業って？



今まで生活してきた地域で、これからも安心して暮らしていくためには、地域の住民や活動団体、民間企業などの連携・支え合いが大切です。それがあつて、高齢の方が抱く日常のちょっとした困りごと（電球の交換、家具の移動など）は、地域の中で解決できます。そういった地域の支え合いを進めていく事業が生活支援体制整備事業です。その体制を作つていくために、生活支援コーディネーターが配置され、地域にどんな協力者がいるのか探し、情報を必要とする方との橋渡しを行っています。

皆さんのひとひひとひが主役です！！

みんなで話し合い、さらに住みやすい町 つくいませんか？

話し相手が
欲しいなあ・・・



たまにしか会えない
お母さんが心配



得意なこと活かして
楽しみ見つけたいわ



地域で貢献
できないかな？



まだまだ元気だ！
力を貸すよ



よりみなさんが輝く町に…



生活支援コーディネーターが
「住む町がこうなったら
いいね！」を語る場の
設定をいたします。

【お問い合わせ・ご連絡先】

社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会

札幌市北区北 24 条西 6 丁目 北区役所 1 階

電話 757-2482

担当) 生活支援コーディネーター 村井田

